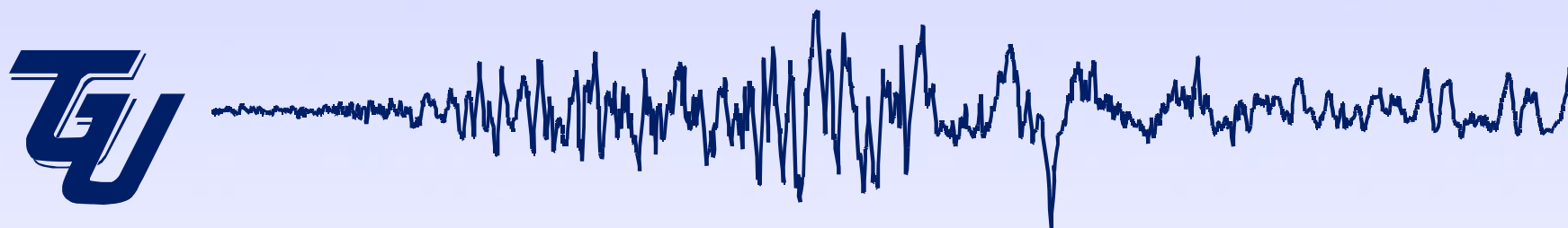


津波・地震体験談



東北学院大学
吉田 望

主な時間経過

■ 発生の日

- 歩道橋で津波から避難 12時間

■ 2～3日

- 大学内。避難所の食事。停電

■ 3～4日

- 家の泥片付け（仮）

■ 5日～

- 大学の事務室と避難所
- 大学の建物被災度調査
- 学会活動

■ 4月4日 水道の復旧

- 泥の片付け

■ 4月7日 余震による停電（復旧まで約2日）

■ 4月9日 給水器取り替え

- 初めて我が家でお風呂に

地震の発生直後

■ 最初の揺れ

- 本棚が倒れてきても大丈夫なところに移動
- 家内に電話（地震後だと通じないことが）
 - ▶ 携帯電話を忘れた
- 大学の電話はすぐ不通に
 - ▶ 右側のディスプレイが消える
 - ◆ 停電した
 - ▶ パソコンをシャットダウン

■ 二度目の揺れ

- じっと見ているだけ



地震後の被害

本・コーヒーメーカー



ディスプレイ
机の引き出し



書棚



その後の行動



避難のための歩道橋から



津波の進行



津波の進行



まだ、焦りはない



遠くでは車が流れ始めた



車が流され出した



車からの脱出



歩道橋の人たち



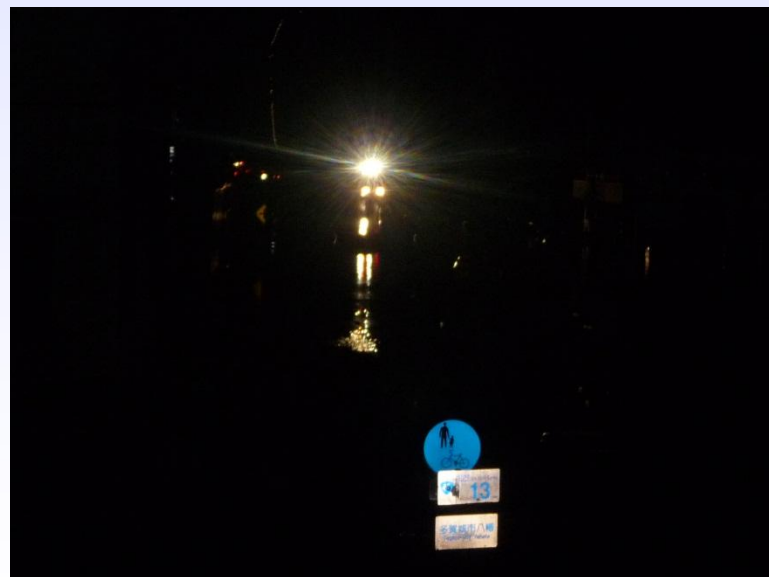
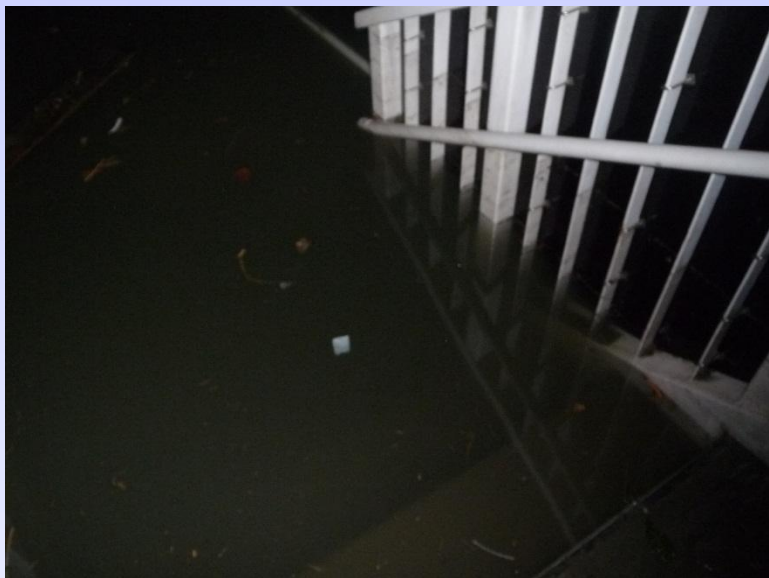
火災の発生



歩道橋の上から



歩道橋の上



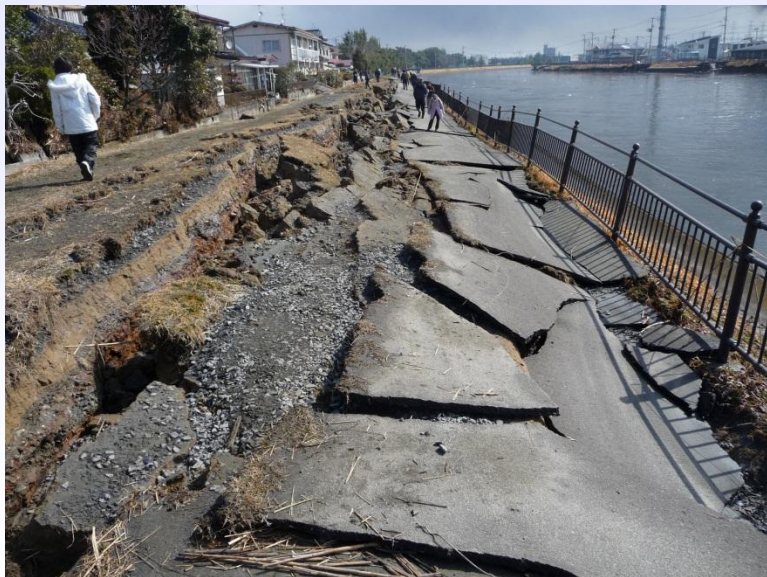
救出されて



我が家の状況

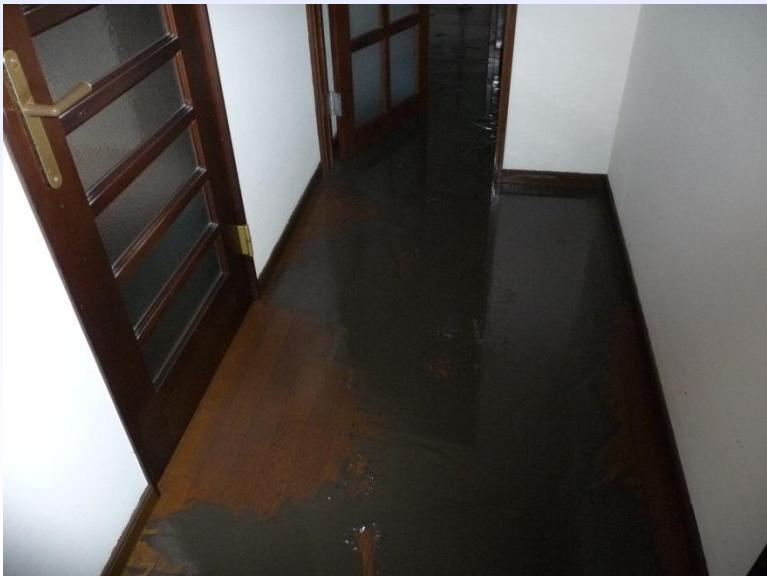


周辺の状況



我が家に帰って





経験から

■ 役に立たなかったもの

- 171

- ▶ つながらない。つながった時には不要に

- テレビの地震の解説

- ▶ 避難している身で、メカニズムがわかってても...

- ▶ 「落ち着いてください」 で、何を？

■ 改善してほしいもの

- テレビ，ラジオはすべて地震報道

- ▶ 悲惨な状況ばかりで落ち込む

- ◆ 子供は飽きてしまう

- ▶ 局で相談して通常番組を流すところがあった方が

- ▶ 被災地向け，非被災地向けで報道を変えてほしい

- ◆ 情報の種類が異なる

■ その他

- Webがみられなかったので心配
 - ▶ がんばって4日間の行動をアップしたのが効果
- 安否確認メール
 - ▶ 返事に時間がかかります
 - ◆ 時間をおいてから
 - ◆ 無事, 助け必要, などの選択をするだけのメール
- サポート
 - ▶ 支援物資
 - ◆ ありがたかった。時間遅れも
 - ▶ 励ましのメール
 - ◆ うれしかった
- 温度差
 - ▶ 被災のレベルによって, 考え方が異なる。
- 被災して
 - ▶ 気力が失われる
 - ◆ 復旧は建設的な作業ではない
 - ◆ 見通しがはっきりしない